
【1】<特集> スポーツ少年団の理念とクラブとの共存



■日本スポーツ少年団(以下、スポーツ少年団)は、1962(昭和 37)年に創設され、来たる 6 月 23 日に創設 50 周年を迎えます。

スポーツ少年団の理念の根幹は、スポーツを通じた「次代を担う健全なからだところを持った青少年の育成」であり、その活動は総合型クラブが目指す地域づくり・人づくりと共通点が多いといえます。

スポーツ少年団は、50 年の歴史に裏打ちされたリーダー養成事業や国内外の交流事業などの幅広い事業を行っています。

既存少年団との融合や、総合型クラブが少年団を作った例などから、双方が共存するメリットを探ります。ぜひ、ご覧ください！

▼スポーツ少年団の理念と組織・システム

http://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data/kurabuikusei/MailMagazine/H24/H24.6_Junior%20Sports%20Club%20Association_idea&system.pdf

▼キッズを増やす戦略からスポーツ少年団と共存

(北坂戸総合型地域スポーツクラブ 埼玉県坂戸市)

http://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data/kurabuikusei/MailMagazine/H24/H24.6_tokushu_welkitasakado.pdf

▼総合型クラブが結成したスポーツ少年団のメリットと期待される効果

(MIYAZAKIうづら ai クラブ 宮崎県宮崎市)

http://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data/kurabuikusei/MailMagazine/H24/H24.6_tokushu_MIYAZAKI%20udura%20ai%20Club.pdf

【2】若手クラブ仕事人の夢メッセージ(小松真弓さん)



◆総合型クラブの仕事を本業としている若者を紹介する連載です。
若さは実年齢と関係ありませんが、ここではおよそ 35 歳以下。

今月は「渋川いきいき健康スポーツクラブ」(群馬県渋川市)の
クラブマネジャーの小松真弓さんを紹介します。

小学生時代はスポーツ少年団でスケート、中学生時代は卓球部、
しかし、高校・大学生時代はスポーツと無縁だったので、運動が
得意ではない方の気持ちを理解しながら活動に取り組んでいます。
大変な仕事にも地道に取り組み感謝を忘れない真弓さん、素敵です！

▼詳細と写真はこちらから

http://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data/kurabuikusei/MailMagazine/H24/H24.6_young_worker.pdf

▼「渋川いきいき健康スポーツクラブ」の HP はこちらから

<http://www.siksc.org/>

[3]わがクラブの人気プログラム「ちょいトレ」

(NPO 法人クラブパレット 石川県かほく市)



■68号[2011年6月発行]から連載している「わがクラブの人気プログラム」
では、人気のある(人が集まる、好評である、など)プログラムを
その魅力や人気のポイントも含めて、隔月で紹介しています。

働き盛りの忙しい男性のために、短時間、場所・服装を選ばない、
簡単にできる、というポイントをおさえ、約5~8分の日替わり
運動プログラムが「ちょいトレ」です。

もともとは市の委託事業で、市内数十カ所の事業所で体験会を
行っていましたが、予想を超える成果に現在は、社員に運動して
ほしい企業と、研究したい大学から直接依頼が来るようになり、

年間 90 万円ほどの売上を生む事業になっています。
ぜひご覧ください！

▼詳細と写真はこちらから

http://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data/kurabuikusei/MailMagazine/H24/H24.6_popular_program.pdf

▼「NPO 法人クラブパレット」の HP はこちらから

<http://po4.nsk.ne.jp/~club-lets/>

【4】東日本大震災被災地 応援情報

被災地クラブの活動状況と復興へ向けて(岩手県:後編)

～岩手県沿岸市町村にある総合型クラブへの支援と今後の展望～



◆東日本大震災から 1 年が過ぎました。震災前の生活から一変した被災地では、今も大変な状況が続いています。

被害が特にひどかった東北 3 県の 1 つ、岩手県の状況を、クラブ育成アドバイザーの伊藤啓太さんに報告いただきます。被害状況や活動状況をお伝えした 79 号[2012 年 5 月発行](前編)に続き、今月号は後編です。ぜひご覧ください！

▼詳細と写真はこちらから

http://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data/kurabuikusei/MailMagazine/H24/H24.6_tohoku_aid.pdf

【5】助成金情報(申込締切 7 月 31 日までのもの)

▼「タケダ・いのちとくらし再生プログラム」第 2 回助成
(7 月 2 日から 7 月 11 日まで)

<http://www.inochi-kurashi.jp/news/634.html>

▼第9回日本パートナーシップ大賞(7月31日まで)

http://www.psc.or.jp/02_12.html

【8】メールマガジン次号の予告

＜特集＞子育て支援のあるクラブ

＜連載＞アドバイザーおススメクラブ

東日本大震災被災地応援情報 ほか

■発行予定日：7月20日(金)

★お知らせ★

●日本スポーツ少年団創設50周年記念寄付金募集について

(平成24年12月31日まで)

日本スポーツ少年団は、1962(昭和37)年6月23日に日本体育協会創立50周年記念事業の一環として創設されて以来、「スポーツによる青少年の健全育成」を活動の理念に掲げ、全国の多くの関係者に支えられながら、半世紀にわたり青少年のスポーツ振興に貢献し、2012(平成24)年に創設50周年を迎えます。

この創設50周年を契機に、全国の多くの関係者とその慶事を祝するとともに、これまでのスポーツ少年団の歴史をたどり、後世に理念を継承し、これからの発展に資するための記念事業実施に伴い、寄付金を募集いたします。

▼詳しくはこちらから

<http://www.japan-sports.or.jp/club/news/tabid/83/Default.aspx?itemid=2416>

.....
.....

●情報誌「Sports Japan」創刊号を発行しました!!

日本体育協会では、これまでの本会公認スポーツ指導者等対象の情報誌「スポーツジャーナル」とスポーツ少年団関係者対象の情報誌「Sport JUST」を統合し平成 24 年度より装いを新たに「Sports Japan」として発行しました。

年間 6 回のほか 2 回の特別号を発行し、総合型地域スポーツクラブ、スポーツ指導者、スポーツ少年団をはじめとするスポーツ関係者の皆様はもとより、様々なスポーツ愛好者にとっても有益でタイムリーで身近な情報の発信に努めていきます。
本誌の購読を希望される方は、下記によりぜひお申し込みください。

▼オンライン申込はこちらから

<https://jasacm.japan-sports.or.jp/cms/form/event.php?eid=202>

▼詳細はこちらから

<http://www.japan-sports.or.jp/publish///tabid/661/pdid/105/Default.aspx>

.....
.....

●2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会

招致にご協力をお願いします！

去る 5 月 23 日、国際オリンピック委員会(IOC)理事会において、東京は第一次選考を通過し、正式な立候補都市となりました。

今後、来年 9 月 7 日にブエノスアイレスにて開催される IOC 総会における開催都市決定まで、招致活動は加速していきます。

日本でのオリンピック開催のために、皆様の応援を是非お願いいたします。

▼2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会招致委員会
ホームページはこちらから(クラブホームページにリンクいただくなど、ご協力をお願いいたします)

<http://tokyo2020.jp/jp/index.php>

.....
.....

●笹川スポーツ財団「スポーツアカデミー」の開催(6月29日～)

スポーツ振興に資する研究調査、情報の収集・発信、政策提言を行う笹川スポーツ財団が、自ら刊行している「スポーツ白書」を教材とした「スポーツアカデミー」を開催します。

第3章「スポーツクラブ」、第5章「子どものスポーツ」、第7章「スポーツの発展と資金」などを含む全10章のテーマについて解説します。

毎月、平日の18:30～20:00に開催予定で、各回での参加申込みが可能です(参加人数には限りがあります)。皆様、奮ってご参加ください。

※第1回(6月29日)については、参加申込受付を終了しました。

▼詳細と申込みはこちらから

<http://www.ssf.or.jp/academy/index.html>

.....
.....

●あくしゅ、あいさつ、ありがとう

～フェアプレイで日本を元気に！～キャンペーン

本会では、社会におけるスポーツの価値をより高めていくこと、スポーツ界を中心に「フェアプレイ」を社会全体に浸透させ、日本を元気にしていくことを目的に「フェアプレイで日本を元気に」キャンペーンを開始し、専用WEBサイトを公開しています。

おかげさまで、本会加盟団体や総合型クラブ関係者・全国の指導者・少年団関係者をはじめ多くの共感の声をいただいております。

専用 WEB サイト公開 10 ヶ月で「フェアプレイ宣言者」が 3,600 名を超えました。

これもひとえに多くの皆様よりご協力をいただいたおかげと深く感謝しています。

2016 年には、フェアプレイ宣言者 100 万人を目指しています。まだフェアプレイ宣言をされていない方はぜひ専用 WEB サイト上でフェアプレイ宣言をお願いします。

なおフェアプレイ宣言を行っていただくと、宣言書のダウンロードや各種画像データをご自身のブログ等でもご利用いただけます。ぜひ、ご活用ください。

▼フェアプレイ宣言等、詳しくはこちらから

<http://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data0/fair/>

.....
.....

●公式メールマガジンへの登録をお勧めください！

公式メールマガジンをご愛読いただき、ありがとうございます。
おかげさまで、現在約 4,200 の登録をいただいております。

このメールマガジンは、関係者はもちろん、クラブに少しでも関心のある方、会員の方、どなたでも無料でお送りいたします。

メールアドレスをお持ちであれば、すぐに登録できます。
個人情報は一切入力しません。退会も簡単にできます。

登録方法は下記にありますので、本メールマガジンの登録を周りの方にお勧めください。よろしく願いいたします。

【公式メールマガジン登録方法】

- 1) 日本体育協会 HP のトップページの中央にある「総合型地域スポーツクラブ」をクリック
- 2) 下段の「メールマガジン」をクリック
- 3) 「登録・退会」をクリック

- 4)「登録する」をクリック
- 5)登録フォームに、お持ちのメールアドレスを入力(2回)
- 6)登録確認画面へ(完了)

▼メールマガジンの登録(無料)はこちらから簡単にできます。

周りの人にもぜひ登録をオススメください！

<http://www.japan-sports.or.jp/local/tabid/516/Default.aspx>



☆☆☆ メール配信サービスのご案内 ☆☆☆



◆メールマガジン配信停止(退会)ご希望の方は、こちらから◆

<http://www.japan-sports.or.jp/local/tabid/515/Default.aspx>

※お客様のメールアドレスが変更になる場合は、上記ページで一度退会処理をされた後、再度登録手続きを行ってください。

◆当メールは送信専用で配信されており返信できません◆

Copyright (c) Japan Sports Association. All rights reserved